

令和 3 年度に安芸高田市立中学校で使用する教科用図書の採択に係る答申

安芸高田市教科用図書採択地区選定委員会

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	主体的に学習に取り組む工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

教科名	書写
第 1 推薦	3 8 光村
第 2 推薦	2 東書

(書写) 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる 観点	主 たる 特 徴
2 東書	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の示し方は、「目標」と明記して、小單元ごとに示している。</li> <li>・1 学年の目標の数は 3。</li> <li>・巻頭に毛筆、硬筆それぞれの正しい姿勢、鉛筆の持ち方、筆の持ち方、用具の置き方、墨のすり方、後片付け、構え方を、写真及びイラストで 2 ページにわたり示している。</li> </ul>
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「見つけよう」では、硬筆文字から課題を考えさせている。</li> <li>・「書写のかぎ」では、文字を正しく書くためのポイントを掲載し、教材文字の左に「書写のかぎ」を示している。</li> <li>・複数單元ごとに「まとめ」と「書写テスト」が設定され、学習内容を確認・評価させている。</li> <li>・「振り返って話そう」では、目標を達成できたかや「書写のかぎ」や書写用語を使って、学んだことを説明する活動を示している。</li> </ul>
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A B 判、本編 92 ページ、資料編 38 ページで構成している。</li> <li>・資料編は、「書写活用ブック」として、書写を日常生活に生かす教材、「行書の部分の形」「常用漢字表」「人名用漢字表」で構成。</li> <li>・伝統と文化に関する内容の記述については、3 年間合計 17 單元 28 ページ。</li> </ul>
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配色、レイアウト等表現・表記の工夫として、ポイントとなるところに、「四つの動き」を示すアイコンで筆使いを示している。</li> <li>・デジタルコンテンツが、全 28 箇所ある。(1 年：11 教材、2 年：8 教材、3 年：5 教材、書写ブック：4 箇所)</li> </ul>
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年に「生活に広げよう」が設定されているほか、全学年に「文字のいずみ」が設定されており、文字に関連する資料が多く掲載されている。</li> </ul>
1 5 三省堂	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の示し方は、「目標を確かめよう」という意味の旗の記号と共に、小單元ごとに示している。</li> <li>・1 学年の目標の数は 4</li> <li>・巻頭に、毛筆の正しい姿勢、鉛筆の持ち方、筆の持ち方、用具の置き方、墨のすり方、片付け方について、また硬筆についても姿勢と構え方、鉛筆の持ち方を、写真及びイラストで、5 ページにわたり示している。</li> </ul>
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書き方を学ぼう」では、書き方のポイントを字形例とともに、楷書と行書 10 種類で示している。</li> <li>・毛筆で習得したことを、他教科の学習や日常生活・社会生活でも活用できるように、硬筆による書き込みページが設けられている。</li> <li>・単元末の「自分の言葉でまとめよう」の「振り返ろう」では、学んだことが実際に活用できているかを書いて確認し、「自分で学んだことを書き残そう。」では、学んだことを自分の言葉でまとめさせている。</li> </ul>

発行者名	主たる観点	主たる特徴
	観点3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B5判、本編67ページ、資料編47ページで構成している。</li> <li>・ 資料編は、書写を日常生活に生かす教材、文房四宝、「楷書・行書一覧表」「平仮名・片仮名・数字・アルファベット」「毛筆補充教材」で構成。</li> <li>・ 「書いて身につけよう」として、毛筆で学んだことを確認・定着させる硬筆記入欄が18ページとなっている。</li> <li>・ 伝統と文化に関する内容の記述については、3年間合計7単元14ページ。</li> </ul>
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配色、レイアウト等表現・表記の工夫として、ポイントとなるところに、行書の文字(朱墨)と、楷書(黒字)の文字を並べて示している。</li> <li>・ デジタルコンテンツが、「基礎編」「学習のはじめに」にある。</li> </ul>
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の終わりに「やってみよう」というページがあり、各学年の学習を生かして書く活動が掲載されている。</li> </ul>
17 教出	観点1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標の示し方は、「目標」と明記して、小單元ごとに示している。</li> <li>・ 1学年の目標の数は5。</li> <li>・ 巻頭に毛筆の正しい姿勢、鉛筆、ボールペンの持ち方、筆の持ち方、用具の置き方、墨のすり方、後片付け、構え方、筆の各部分の名称について写真で2ページにわたり示している。</li> </ul>
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「考えよう」では、示された観点を基に課題を発見し、課題を解決していく学び方や話し合い活動を通した学び方を示している。</li> <li>・ 毛筆で習得したことを、硬筆の他の文字に応用・転移できる教材が掲載されたページがある。</li> <li>・ 「振り返ろう」では、評価の観点に沿って「○=できた」「△=もう少し」で自己評価を記入したり、試し書きとまとめ書きを比べて、よくなったところを伝え合う相互評価したりする活動が示されている。</li> </ul>
	観点3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AB判、本編89ページ、資料編41ページで構成している。</li> <li>・ 資料編は、書写を日常生活に生かす教材、「書写テストで確認」、情報の整理方法、「小学校/中学校で学習した漢字一覧表」、「補充教材集」で構成。</li> <li>・ 伝統と文化に関する内容の記述については、3年間合計13単元25ページ。</li> </ul>
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配色、レイアウト等表現・表記の工夫として、ポイントとなるところに、「変化」を示すアイコンと写真で、筆使いを示している。</li> <li>・ デジタルコンテンツが全16箇所ある。(1年:7箇所、2年:5箇所、3年:3箇所、補充教材集:1箇所)</li> </ul>
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全学年に「学習を生かして書く」が設定されているほか、学習や日常生活と関連付けがされた教材が多く掲載されている。</li> </ul>
38 光村	観点1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標の示し方は、「目標」と明記して、小單元ごとに示している。</li> <li>・ 1学年の目標の数は2。</li> <li>・ 巻頭に毛筆の正しい姿勢、鉛筆の持ち方、筆の持ち方、用具の置き方、後片付け、構え方について、写真を2ページにわたり示している。</li> </ul>
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「考えよう」では、考えたり話し合ったりして、課題を見つけさせている。</li> <li>・ 「学習の窓」では、日常生活に欠かせない文字を整えて書くためのポイントを示している。</li> <li>・ 「学習を振り返る」では、評価の観点に沿って自己評価をしたり、「書写ブック」で練習したりする活動が示されている。</li> </ul>
	観点3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B5判、本編77ページと資料編48ページ、「書写ブック」24ページで構成している。</li> <li>・ 資料編は、書写を日常生活に生かす教材、「常用漢字表」「人名用漢字表」「部分別行書一覧」「片仮名・数字・アルファベット」で構成。</li> <li>・ 硬筆で直接書き込むことのできる「書写ブック」を設けている。</li> <li>・ 伝統と文化に関する内容の記述については、3年間合計8単元15ページ。</li> </ul>
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配色、レイアウト等表現・表記の工夫として、ポイントとなるところに、写真と言葉で筆使いを示している。</li> <li>・ デジタルコンテンツ二次元コードが全42箇所ある。(1年:15教材、2年:10教材、3年:7教材、補助教材:10箇所)</li> </ul>
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全学年に「名文を書いてみよう」が設定されており、古文・現代文を書く活動がある。</li> </ul>